



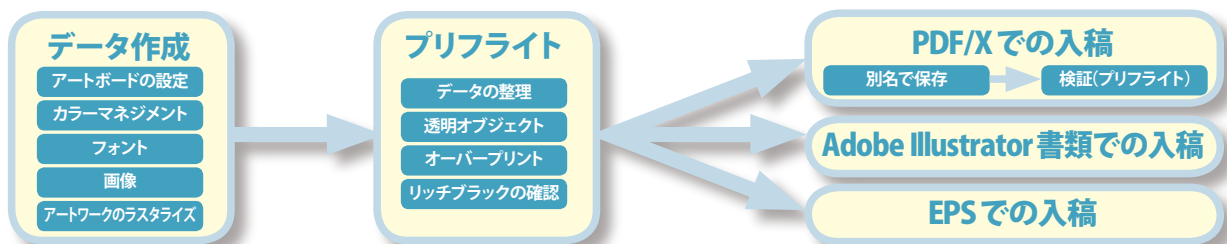
# Adobe® Illustrator® CS2 日本語版

## 的確な出力を行うための データ入稿の手引き

この手引きは、Adobe Illustrator CS2を使って作成された書類を、的確に効率よく出力して頂けるよう、書類作成時およびデータ入稿時の重要なポイントを中心に解説しています。本手引きに沿って作業をしていただくことで、出力時の無用なトラブルを防ぎ、よりの確な出力が可能となります。なお、出力する環境によっては、本手引きに記載してある事が必ずしも当てはまらない場合があります。そのような場合には、事前に出力・印刷会社とご相談ください。




### データ作成から入稿までのワークフロー

Adobe Illustrator CS2では、幅広い出力のニーズに合うように、さまざまなファイル形式がサポートされています。データ入稿に適した出力形式は、Adobe Illustrator 書類、PDF/X\*およびIllustrator EPSです。いずれの入稿形態でも「**データ作成**」から「**データのチェック**」までは、共通のワークフローになります。その後、データを保存する際にAdobe Illustrator 書類(ネイティブ書類)、EPS、PDF/Xの形式を指定します。PDF/Xで入稿する場合はAdobe Acrobat 7.0 Professionalで「**検証**」の作業を行い、入稿データを作成します。



### Adobe Illustrator CS2での入稿の形態と特色

入稿の形態は、出力側の環境などやデータの制作状況に併せて決めることができます。相手側の環境が把握できる場合には通常のAdobe Illustrator ファイル、相手の環境にとらわれることなく入稿したい場合は、汎用性の高い**PDF/X**をお勧めします。EPSで入稿をする必要がある場合には、事前に出力・印刷会社などに入稿方法を確認してください。

	 <b>PDF/X での入稿</b>	 <b>Adobe Illustrator 書類での入稿</b>	 <b>EPS での入稿</b>
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 出力品質が安定しています。</li><li>■ 画像、フォント、印刷情報などすべて含むため、入稿するファイルはひとつです。</li><li>■ PDF を利用した簡潔なワークフローが構築できます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 出力品質が安定しています。</li><li>■ PDF を利用した簡潔なワークフローが構築できます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 従来から普及している最も一般的な入稿方法です。</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 特にありません。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 特にありません。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 出力品質は書類作成者が設定する必要があります。</li><li>■ 画像、フォントを添付して入稿する必要があります。</li><li>■ ファイルサイズが大きくなり、保存や出力に時間がかかる場合があります。</li><li>■ ICC プロファイルに対応していないため、カラーマネジメントが困難です。</li></ul>

#### PDF/Xの規格

PDF/Xは、印刷用データとしてのISO(国際標準化機構)の規格で、PDFの運用上のガイドラインを示しています。PDF/XはPDF上で、印刷上のトラブルの原因となるカラー、フォントなどの諸設定の運用を制限し、円滑な印刷工程を実現するものです。ISOの規格としてのPDF/Xには、PDF/X-1a:2001とPDF/X-3:2002があります。PDF/X-1aは、特定の出力デバイスで使用するCMYKおよび特色のワークフローをサポートするものです。PDF/X-3は、Labなどのデバイスに依存しないカラーを利用したワークフローをサポートするものです。本手引きでは、一般的なPDF/X-1aについて説明しています。



## データ作成

データ作成時に注意しなければならない主なポイントは、アートボードの設定、カラーマネジメント、フォント、画像、ラスタライズの設定です。このポイントさえしっかりと確認しておけば、入稿データの作成におけるトラブルを回避することができます。



## アートボード設定

Adobe Illustrator CS2では、アートボードのサイズでドキュメントが出力されます。データに合わせてアートボードのサイズをきちんと設定しておきます。

1. **ファイル／新規**を選択し、出力するデータのサイズに合わせてアートボードのサイズを設定します。
2. すでに作成済みのドキュメントのアートボードのサイズを変更するには、**ファイル／ドキュメント設定**を選択します。



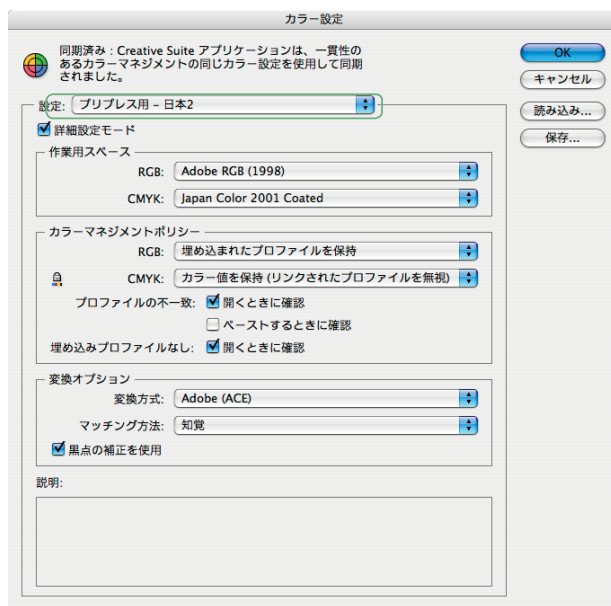
## カラーマネジメント

カラーマネジメントは、ワークフローや最終入稿形態によって作業するカラー空間に合わせて、RGBカラーやCMYKカラーの**プロファイル**を指定することによってカラーの一貫性を保ちます。ここでは一般的な商用印刷のワークフローで使用する設定について説明しますが、実際の入稿データの作成の際には出力・印刷会社と相談して決定してください。

1. **編集／カラー設定**を選択し、カラー設定ダイアログボックスを表示します。
2. 「**設定**」から使用するカラーマネジメントのプリセットを選択します。出力・印刷会社の指定がない場合は商用印刷の標準的な設定である「**プリプレス用 - 日本2**」を選択してください。

### 出力・印刷会社よりプロファイルの指定がある場合

出力・印刷会社より、使用する印刷機のプロファイルを指定された場合は、カラー設定ダイアログボックスの「作業用スペース」の「CMYK」から指定されたプロファイルを選択します。また、出力・印刷会社より、使用する印刷機のプロファイルを提供された場合は、プロファイルを「起動ディスク」/ライブラリ/Application Support/Adobe/Color/Profiles フォルダ (Mac OS X)、[起動ディスク]/Program Files ¥Common files ¥Adobe ¥Color ¥Profiles フォルダ (Windows) の中へコピーします。その後、カラー設定ダイアログボックスの「作業用スペース」の「CMYK」からコピーしたプロファイルを選択します。「作業用スペース」の「CMYK」以外の部分は「プリプレス用 - 日本2」の設定にしておきます。「**保存**」ボタンをクリックし、カラーマネジメントの設定を保存します。これにより、他の Adobe Bridge や Creative Suite アプリケーションやでこの設定を使用することができるようになります。



## Adobe Bridgeでのカラーマネジメントの同期

カラー設定ダイアログボックス上部に「**未同期**」と表示されている場合は、Adobe Bridgeを使って、Creative Suite アプリケーションで**カラー設定を同期**させます。

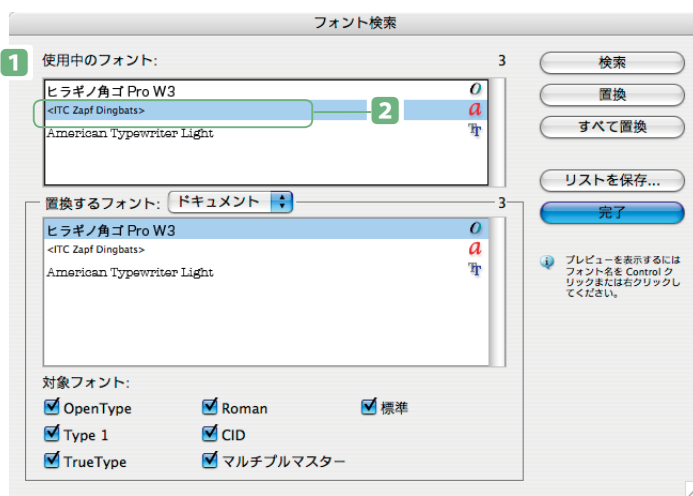
1. **Adobe Bridge**を起動し、**編集／Creative Suiteのカラー設定**を選択します。
2. Suiteのカラー設定ダイアログボックスで、同期させるカラー設定を選択し(1)、「**適用**」ボタン(2)をクリックします。これでカラーマネジメント設定が同期され、Creative Suite アプリケーション全体で同じカラー設定を使用できます。



## フォント

商用印刷用のデータを制作する場合は、高解像度の出力に適したフォントを使用します。高解像度の出力に適しているのは、**OpenType**、**CID**、欧文**Type 1**フォントなどです。TrueTypeフォントなどを使用したい場合は、出力・印刷会社にあらかじめご相談ください。使用しているフォントを確認するには、フォント検索を利用します。

1. 書式／フォント検索を選択し、使用中のフォントを確認します(1)。
2. 出力先の機器で、書類に使用したフォントが出力可能かどうかを確認します。TrueTypeフォントなど商用印刷に適していないフォントなどは置き換えるか、アウトライン化します。
3. フォント名が<>(2)で囲まれて表示されているフォントは、**システムにないフォント**です。フォントをシステムにインストールするか、別のフォントに置き換えます。
4. 置き換えたフォントは、ドキュメント上でレイアウトを確認してください。



## 画像

Illustratorにはさまざまなファイル形式のグラフィックを配置することができます。高品質での出力には、PSD (Photoshop)、TIFF、EPS、AI (Illustratorのネイティブ形式)、PDFのファイルを配置するようにしてください。ただし、EPSについてはカラーマネジメントができない形式ですので注意が必要です。配置されている画像の確認には、リンクパレット利用します。

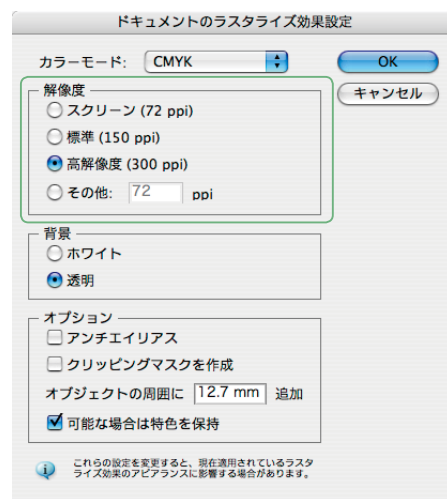
1. ウィンドウ／リンクを選択して、リンクパレットを表示し、画像を確認します(1)。
2. 変更されたリンクアイコン(2)が表示されている項目は**リンク画像が未更新**であることを示しています。パレットメニューから「**リンクの更新**」(3)を選択してリンクを更新します。
3. 無効なリンクアイコン(4)が表示されている項目はグラフィックファイルが読み込み元の場所に見つからないことを示しています。項目を選択し、パレットメニューから「**リンクを再設定**」(5)を選択してリンクを設定しなおします。



## アートワークのラスタライズ

アートワークにラスタライズ効果を加えた場合、ドキュメントのラスタライズ効果設定の**解像度**を指定しておきます。

- 効果／ドキュメントのラスタライズ効果設定を選択し、「解像度」を出力線数に合わせた設定にします。



## プリフライト — 入稿データの確認

入稿データを保存する前に、作成したデータを確認したり不要なデータを削除してデータを整理します。



### データの整理

出力に関係のないオブジェクトやレイヤー、スウォッチ、ブラシ、シンボル、さらに余分なアンカーポイントなどを削除します。

- トレース用の下絵やガイドオブジェクト、プリントしないレイヤー、テキストコピーオブジェクトなど **出力時に不要なオブジェクトやレイヤーは削除**し、書類のプレビューと出力結果を一致させます。
- 書類上で使用されていないスウォッチ、ブラシ、グラフィックスタイル、シンボルは、それぞれのパレットサブメニューの「**未使用項目を選択**」を選択し、パレット右下の削除ボタンで削除します。削除することによって、書類サイズを軽くし出力を効率化することができます。
- スウォッチパレットで余分な特色が使用されていないかどうかを確認します。使用されていた場合は、スウォッチの設定をプロセスカラーに変更します。また、特色名(スポットカラー)が不適切ではないかどうかをチェックしてください。
- **選択／オブジェクト／余分なポイント**を選択し、オブジェクト上の余分なアンカーポイントを削除します。



### 透明オブジェクトの確認

透明やアピアランスを利用している場合は、透明の分割・統合プリセットの設定で分割、統合されます。分割・統合プレビューパレットで**透明オブジェクトが分割・統合される部分を**確認します。

1. ウィンドウ／分割・統合プレビューを選択し、分割・統合プレビューパレットを表示します。パレットメニューから「**オプションを表示**」を選択し、パレットを拡張します。
2. 「**ハイライト**」から「**透明オブジェクト**」を選択し、「**更新**」ボタンをクリックします。「**プリセット**」は商用印刷では通常「**高解像度**」に設定します。分割・統合される部分が赤で表示されます。



### オーバープリントプレビュー

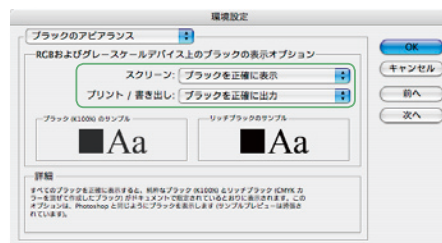
初期設定ではオブジェクトのオーバープリントはノックアウト(抜き)になっています。

1. **表示／オーバープリントプレビュー**を選択することにより、オーバープリント属性が使用されているオブジェクトが、**色分解出力**(「オーバープリント処理」オプションが有効な場合はコンポジット出力)でどのように見えるかを確認できます。
2. 不適切な設定がある場合は、オブジェクトを選択し、属性パレットの「**塗りにオーバープリント**」「**線にオーバープリント**」のチェックを設定します。



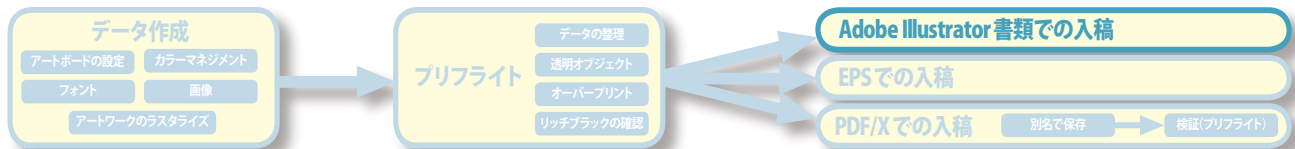
### リッチブラックの確認

Illustrator では、**ブラックとリッチブラックの違い**をモニタ上で確認することができます。**環境設定**ダイアログボックスのブラックのアピアランスを選択し、「**ブラックを正確に表示**」を選択します。

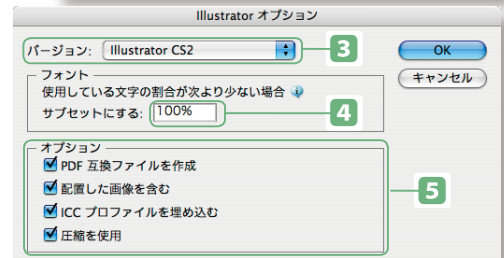




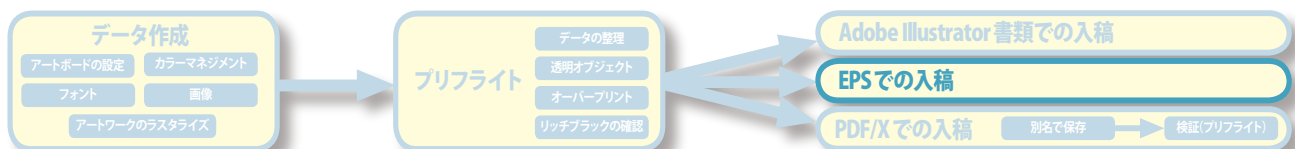
## Adobe Illustrator 書類での入稿



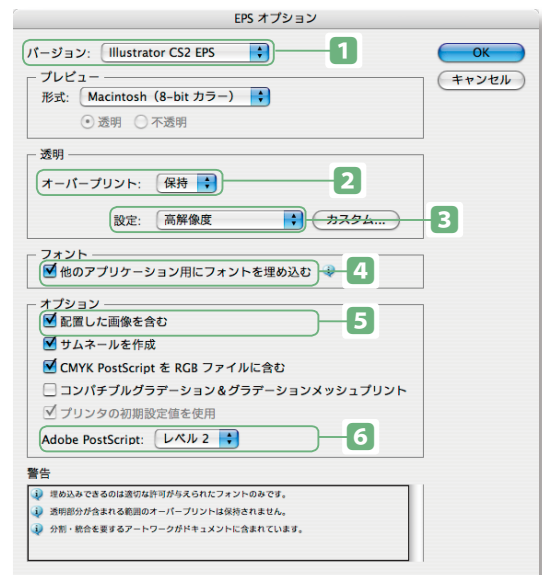
1. ファイル／保存を選択し、作成したデータをIllustrator書類として保存しておきます。
2. ファイル／別名で保存、あるいは複製で保存を選択します。
3. 別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名と保存場所を指定し、「フォーマット」から「Adobe Illustrator 書類」(1)を選択し、「保存」ボタン(2)をクリックします。
4. Illustratorオプションダイアログボックスが表示されます。バージョン(3)は基本的には変更しないようにします。他のバージョンで保存する場合は本冊子の8ページを参照してください。
5. フォントのサブセットは「100%」(4)に設定します。「オプション」(5)はすべて選択してください。



## EPS での入稿



1. ファイル／保存を選択し、作成したデータをIllustrator書類として保存しておきます。
2. ファイル／別名で保存、あるいは複製で保存を選択します。
3. 別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名と保存場所を指定し、「フォーマット」から「Illustrator EPS (eps)」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。
4. EPSオプションダイアログが表示されます。バージョン(1)は基本的には変更しないようにします。
5. 「透明」では、「オーバープリント」を「保持」(2)、「設定」を「高解像度」(3)にします。透明設定については事前に出力・印刷会社と相談をしてください。
6. 「他のアプリケーション用にフォントを埋め込む」(4)を選択します。
7. 「オプション」では、配置した画像がある場合は必ず「配置した画像を含む」(5)をチェックします。「AdobePostScript」(6)は出力する機器にあわせて設定します。わからない場合は「レベル2」に設定します。そのほかのオプションは、初期設定のままでかまいません。



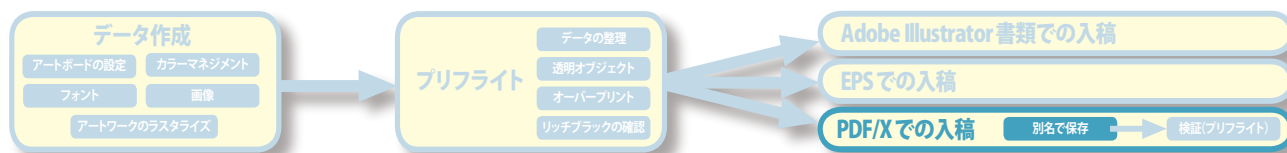
## Adobe Illustrator書類／EPSでの入稿時のポイント

- 作成したバージョンを確認します。Mac OS Xでは、ファインダ上で書類の「情報を見る」コマンドを利用します。バージョンの項目で、ファイルの互換形式と作成したIllustratorのバージョンが確認できます。Windowsでは、書類アイコンを右クリックし、書類の「プロパティ」を表示し、プロパティダイアログのInformationタブで確認します。
- 配置画像をすべて添付します。\*
- 使用フォントについて明記します。コピーが許諾されている欧文フォントは添付します。\*
- 書類情報のデータをプリントアウトして添付します。ドキュメント情報パレットのサブメニューの「選択内容のみ」のチェックをはずして、サブメニューから「保存」を選択してテキストファイルを書き出します。

\*出力・印刷会社の対応によっては添付が不要場合があります。あらかじめ、出力・印刷会社と相談してください。

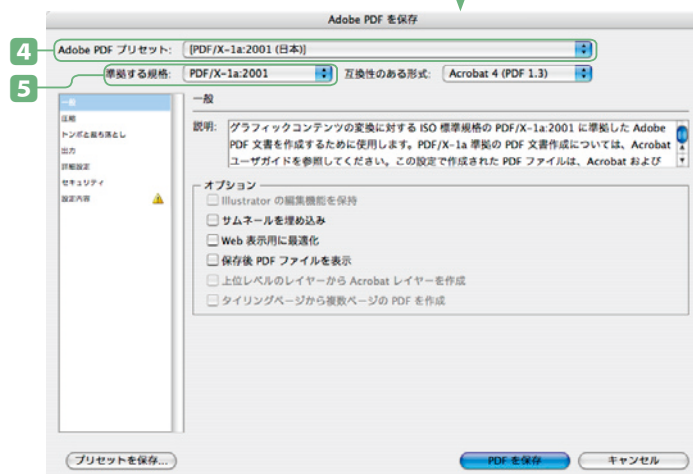
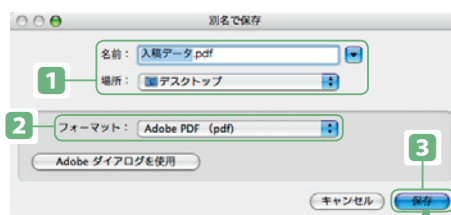
## PDF/X-1aでの入稿

出力側と制作側のフォント環境、オペレーティングシステムやアプリケーションのバージョンが異なる場合でも、汎用性が高いPDF/Xなら、入稿データとして利用することができます。Illustrator CS2には、PDF/Xのデータを作成するための書き出しプリセットが用意されています。なお、PDF/Xには、CMYKおよび特色をサポートしているPDF/X-1aと、Labなどのデバイスに依存しないカラーの利用が可能なPDF/X-3規格がありますが、ここでは、一般的なPDF/X-1aについて説明します。

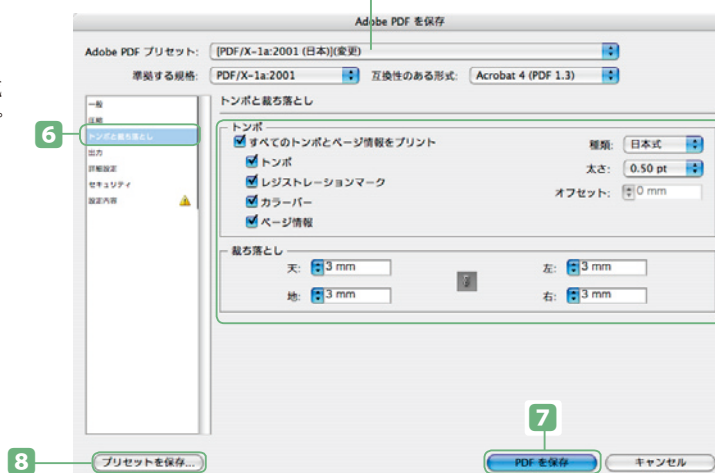


## PDF/X-1aファイルの作成

1. **ファイル／保存**を選択し、作成したデータをIllustrator書類として保存しておきます。
2. **ファイル／別名で保存**、あるいは**複製で保存**を選択します。
3. **別名で保存**ダイアログボックスで、ファイル名と保存場所(1)を指定し、「フォーマット」から「**Adobe PDF (pdf)**」(2)を選択し、「**保存**」(3)ボタンをクリックします。
4. **Adobe PDFを保存**ダイアログボックスが表示されます。「**Adobe PDFプリセット**」から「**PDF/X-1a:2001 (日本)**」(4)を選択します。「**準拠する規格**」が「**PDF/X-1a:2001**」(5)になっていることを確認してください。
5. 必要に応じて、**トンボと裁ち落としパネル**(6)で**トンボや裁ち落とし領域を設定**します。このパネルの設定は、書き出したPDFファイルをどのように面付けて印刷するか(後工程)によって変わるため、出力・印刷会社のオプション設定になります。出力・印刷会社に問い合わせしてから設定してください。
6. 基本的には、そのほかのパネルは設定を変更する必要はありません。変更する必要が生じた場合は、出力・印刷会社に相談のうえ、必要に応じて設定します。詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。
7. 設定が終了したら、「**PDFを保存**」ボタン(7)をクリックします。これでPDF/X-1aファイルが作成されます。この設定を保存しておきたい場合は、「**プリセットを保存**」ボタンをクリックします(8)。

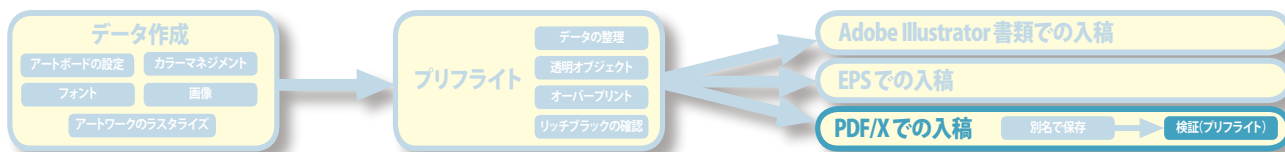


他のパネルの設定を変更すると、「PDF書き出しプリセット」のプリセット名の最後に「(変更済み)」と表示されます。

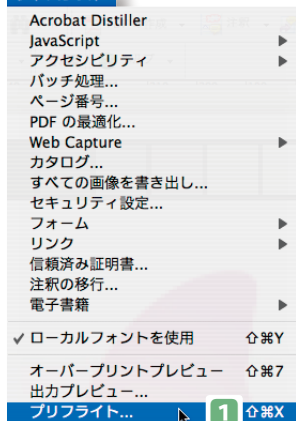


# Adobe Acrobat 7.0 Professionalでの検証

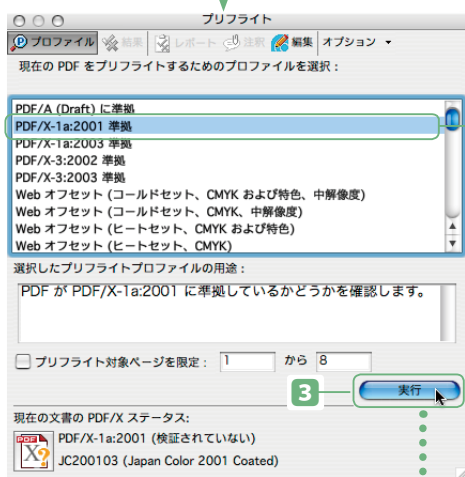
PDFが作成できたら、入稿する前に、Adobe Acrobat 7.0 Professionalで検証(プリフライト)を行います。



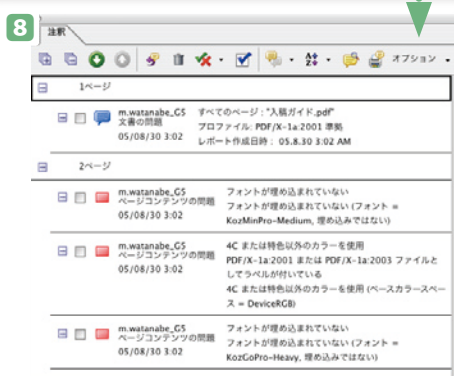
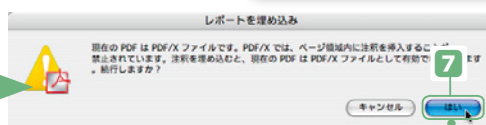
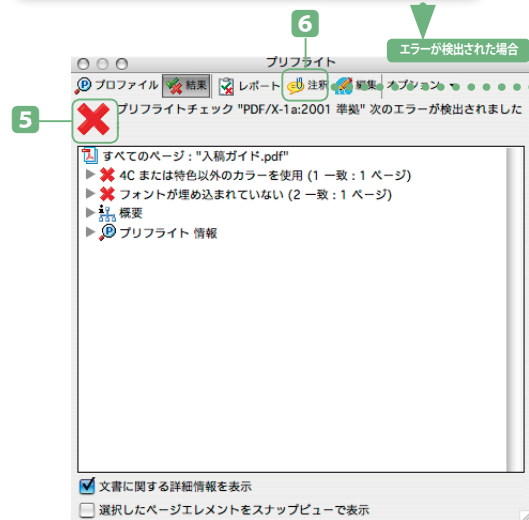
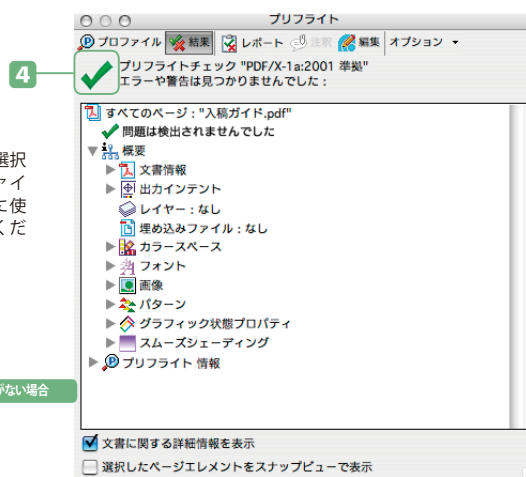
## アドバンスド



1. Adobe Acrobat 7.0 Professionalで、書き出したPDFを開き、アドバンスド／プリフライト(1)を選択し、プリフライトパネルを開きます。
2. プリフライトするプロファイルを選択(2)し、「実行」ボタン(3)をクリックします。
3. プリフライトが終了し、エラーがない場合は、結果パネル「✓」(4)が表示されます。これで、プリフライトは終了です。
4. 結果パネルに×印(5)が表示され、エラーが検出が出た場合は、エラーの情報を確認します。「注釈」ボタン(6)をクリックし、注釈の埋め込みを警告するダイアログボックスが表示されますので、「はい」ボタン(7)をクリックします。PDFファイル上でエラーが検出された部分に注釈が付加されます。
5. エラーの場所とエラーの内容を注釈で確認(8)したら、Illustratorで元のドキュメントを開き、エラーの箇所を修正してから再度PDF/X-1aでファイルを書き出して検証してください。



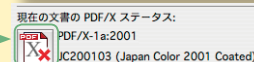
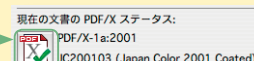
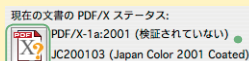
ここでは、PDF/X-1a:2001 準拠を選択していますが、作成したPDFファイルの用途によってプリフライトに使用するプロファイルを選択してください



注釈の使い方については、Adobe Acrobat 7.0 Professionalのオンラインヘルプを参照してください

## 簡単な検証方法

PDF/X形式のファイルを検証する場合、プリフライトパネルの下にある「検証」ボタンの右側に検証に使用するプロファイル名が「PDF/X-1a」と記述されているなら、「検証」ボタンをクリックして簡単に検証することができます。ボタンアイコンをクリックし、「?」が「✓」に変われば検証は終了です。×印(5)が表示され、エラーが検出が出た場合は、結果パネルでエラーの情報を確認し、Illustratorで元のドキュメントを開き、エラーの箇所を修正してから再度PDF/Xでファイルを書き出して検証してください。

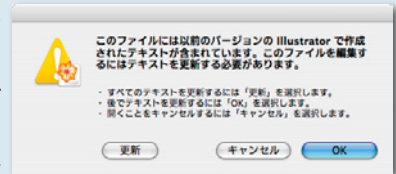


## 互換性について

Adobe Illustrator CS2で作成された書類は、以前のバージョンのIllustratorと互換性のある形式で保存することができますが、以前のバージョンのIllustratorでサポートされないデータは分割され、編集できなくなる場合があります。以前のバージョンのIllustratorと互換性のある形式で保存する必要がある場合、作業中のアートワークはIllustrator CS2書類形式で保存し、完成したアートワークを目的の形式で別名で保存することをお勧めします。以前のバージョンのIllustratorとの互換性については下記を参考にしてください。

### 以前のバージョンのIllustratorで作成された書類を、Illustrator CS2で開いた場合

Illustrator CS2では、最高品質のテキスト組版、UnicodeとOpenType機能のサポート、および便利な文字スタイルと段落スタイルを使用できるテキストエンジンが搭載されています。このテキストエンジンのため、Illustrator CS以前のバージョンで作成されたテキスト（レガシーテキスト）をIllustrator CS2で編集するには、テキストを更新する必要があります。また、以前のバージョンのIllustratorで作成された書類を開く際に、テキストを更新せずに、作成されたレイアウトを保持することができます。この場合、レガシーテキストを編集することはできません。



### Illustrator CSで作成した書類を以前のバージョンのIllustrator/Illustrator EPS形式で保存する場合

以前のバージョンのIllustratorと互換性のある書類を作成するには、「別名で保存」コマンドを使用します。以前のバージョンのIllustrator形式やIllustrator EPS形式では、グラデーション、レイヤー、透明、文字設定など一部の機能がサポートされない場合がありますので注意してください。

- テキスト：データ書き出しした書類を以前のバージョンのIllustratorで書類を開いた場合、Illustrator CS2で作成したレイアウトを保持するために、テキストオブジェクトが分割される場合があります。
- 透明/効果/アピアランス/ライブペイント：データ書き出しした書類をIllustratorの以前のバージョンで書類を開いた場合、Illustrator CS2で作成したアートワークを保持するために、オブジェクトが分割される場合があります。

#### 以前のバージョンのIllustratorでサポートされない主なIllustratorデータ一覧

	Illustrator CS	Illustrator 10	Illustrator 9	Illustrator 8	Illustrator 3 日本語
レイヤー	○	○	○	○	×
ネストレイヤー	○	○	○	×	×
透明	○	○	○	分割	分割
効果	○	○	○	分割	分割
3D	分割	分割	分割	分割	分割
落書き	分割	分割	分割	分割	分割
ワープ	○	○	分割	分割	分割
アピアランス	○	○	○	分割	分割
日本語組版	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン
OpenType フォント	○	○	○	×	×
字形(異体字)	○	アウトライン	アウトライン	アウトライン	アウトライン
OpenType 機能	○	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン
エンベロープ	○	○	分割	分割	分割
ライブペイント	分割	分割	分割	分割	分割
ライブラリーストック	分割	分割	分割	分割	分割
グラデーションメッシュ	○	○	○	○	分割
ブレンド	○	○	○	○	分割
シンボル	○	○	分割	分割	分割
ブラシ	○	○	○	分割	分割
グラデーション	○	○	○	○	分割
パターン	○	○	○	○	○
パスファインダ(複合シェイプ)	○	○	分割	分割	分割
単位					
ピクセル	○	○	○	×	×
級/歯	○	○	○	○	×
選択範囲の保存	○	○	×	×	×
配置画像					
埋め込み画像	○	○	○	○	×
RGB 画像	○	○	○	○	×
アートワークサイズ	○	○	○	○	×
カラーモード					
書類のカラーモード	○	○	○	CMYKに変換	CMYKに変換
RGB カラー	○	○	○	○	CMYKに変換
プロファイルの指定	○	○	○	×	×
Web					
スライス	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	×

\* カスタム：457.2mm × 457.2mm に設定されます。 ※「Illustrator 3」互換は日本語をサポートしていませんので、ご注意ください。

アドビ カスタマー サービス Tel. ナビダイヤル 0570-067337 または 03-5350-0407 電話受付時間 9:30 ~ 17:30 (土曜、日曜、祝日および弊社指定休日を除く)  
アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-61-3884

Better by Adobe  
アドビ システムズ 株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イースタワー [www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)

この資料の掲載内容は、2005年9月末日現在のものです。内容に関しては予告なく変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

この資料は、Adobe Creative Suite および OpenType で作成され、PDF/X-1a で出力されています。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、Adobe Illustrator および PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。OpenType および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Macintosh は、米国およびその他の国々における Apple Computer, Inc. の登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利所有者の所有物です。

© 2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASJST521 9/05

